

# ふるさとの明日を担う 人材の育成を願って

『公益信託 荘内銀行ふるさと創造基金』は、豊かで潤いのある地域社会づくりのお手伝いをするために、2001年に当行が中心となって設立した基金です。運営委員の皆さまをはじめとする多く方のお力を借りながら運営を継続しており、2020年度までに山形県内の学校教育、社会教育、文化活動を対象として、延べ834件に助成を実施いたしました。

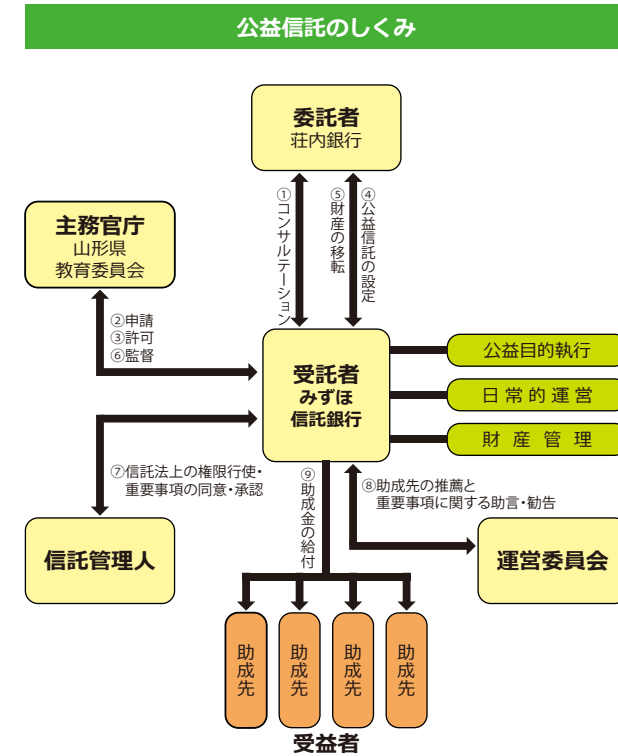
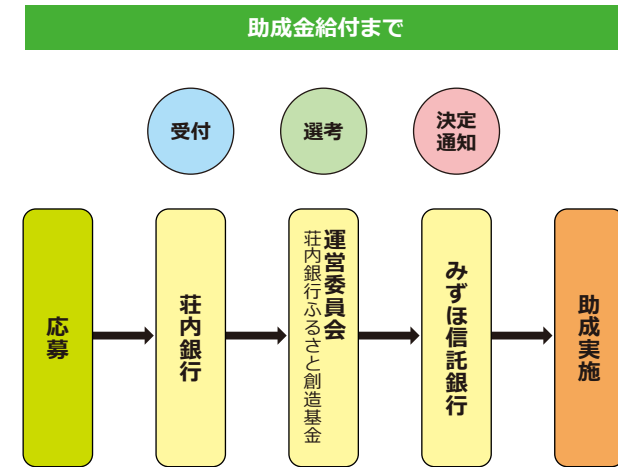
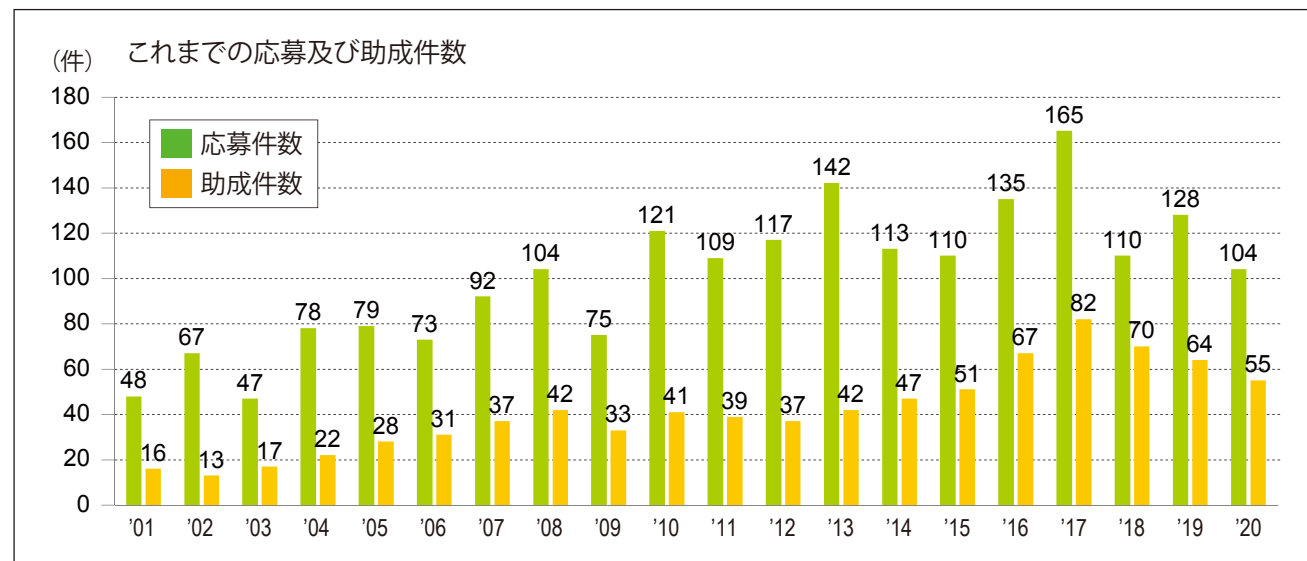
地方創生に向けては、社会・教育・文化の面で、自主的に地域課題の解決や次代を担う人材の育成に取り組むことが重要だと考えます。

2015年の国連サミットにおいて、グローバルな社会課題を解決し、持続可能な世界を実現するための国際目標としてSDGs(持続可能な開発目標)が採択されました。荘内銀行はじめフィデアグループは、その趣旨に賛同し、「SDGs宣言」を行っています。地域の持続可能性の向上に取り組むことは、地域金融機関の使命であると考えています。

本基金は、地域に根差した継続的な活動を支援していくことで、地域社会の発展に寄与することを目指しています。山形県内で熱意をもって活動されている皆さまに本基金をご活用いただき、地元の未来を担う人材の育成、優れた文化の伝承と創造が推進されることを祈念しております。



2020年12月  
株式会社荘内銀行  
頭取 田尾 祐一



申請書の提出/お問い合わせ  
**公益信託 荘内銀行ふるさと創造基金**  
 (事務局) 荘内銀行広報CSR室  
 [住所]〒990-0043 山形市本町一丁目4-12  
 [TEL]023-626-9006 [FAX]023-626-9124



公益信託  
**荘内銀行ふるさと創造基金**  
*the public trust*

# 2019年度の助成団体から

## 学校教育 山形県立村山産業高等学校 酒米研究班

助成事業：地域を興す1滴への挑戦!～学びの結晶「花ひかり」プロジェクト～

村山市に魅力ある特産物を増やそうと、村山産業高校では2018年に純米吟醸酒「花ひかり」を誕生させました。これを地域活性化のチャンスと捉え、前身の村山農業高校で品種登録した酒米を生徒が栽培し、「新花ひかり」とそれを活用した特産品の研究開発に取り組んでいます。

2019年度は、醸造副産物利用による特産品開発(酒粕を用いた「どら焼き」「酒カステラ」)を行いました。生徒たちにとっては、当基金を活用して行った「食文化や産業を地元小中学生に伝える出前授業」や「当校での公開講座の開催」など様々な「地域とのつながり」を通して地元愛が育まれました。今後も地域の食文化や産業の継承と将来の地域人材の育成に取り組んでいきます。



## 社会教育 庄内自然博物館構想推進協議会

助成事業：都沢湿地のトンボ相の解明と環境教育の実践

鶴岡市にある、県内唯一のラムサール条約湿地を形成する「大山下池」の東側に広がる「都沢湿地」は、植生遷移による陸地化や外来性動植物による在来動植物の捕食などが課題となっています。

このことから、外来種生物の捕獲や湿地再生事業の象徴種となるトンボの生態系把握に取り組み、湿地の環境保全活動に多くの市民が携わることで理解・関心がより高まることを目指しています。

2019年度は、当基金を活用して生態系把握、環境保全活動において継続的に使用可能なトンボ相リーフレットを作成し、学習会、フィールドワークで利用しています。

多くの市民が湿地環境に魅力を感じ、湿地再生事業への理解が広められるように、今後の活動に市民自らが積極的に参加することを期待しています。



## 文化活動 大蔵太鼓保存会

助成事業：大蔵太鼓保存会継承活動と結成35周年記念事業

約400年の伝統がある「清水八幡太鼓」の保存、継承と地域の活性化、また、担い手となる子供打ち手の養成による地域の団結、青少年の健全育成を目的として活動を続けています。

活動は、定期練習、公演前強化練習、年間約10数回の公演、福祉等の施設への訪問、奉仕活動、他太鼓団体との研修、交流を実施しています。

2019年度は、当基金により皮が裂け老朽化した締太鼓の補修等を行って、通常の活動の以外に保存会の結成35周年記念事業として、村内外の関係団体、地域住民等を招待した公演を開催しました。

今後も伝統芸能の保存継承活動とともに、太鼓を通じた次代を担う子供たちの地域教育活動を継続してまいります。



### 【庄内銀行ふるさと創造基金地域貢献大賞】

この賞は、これまで基金の助成を行った団体で、地域文化の普及や地域課題の解決など、豊かな地域社会の創造に向けた独自の活動を展開し、活動の継続性と発展性の面で顕著な取り組みがあった団体を顕彰するものとして2012年に設立しました。

#### 2020年度地域貢献大賞受賞団体の紹介

##### 特定非営利活動法人 明日のたね

地域子育て情報サイトの運営を発端に、子育て支援拠点の運営、子ども向けの体験プログラム、地域の高齢者の居場所づくりや多世代交流を取り入れた子育て支援など、子どもからお年寄りまでを対象に広範な取り組みを実施・継続することで活動が定着しています。



子ども体験プログラム



子育て情報誌編集会議

##### 山形県立小国高等学校

キャリア形成につながる教育活動の構築に向けて、「全国高等学校小規模校サミット」の開催運営やアントレプレナーシップ教育に取り組んでいます。さらに、地域の課題解決に向けた学びを継続するなかで地域の方々との交流も始まり、地域社会と多様な連携を図っています。



小規模校サミット・グループワーク



小規模校サミット・全体発表

※これまで、累計24団体に対して地域貢献大賞を贈呈しています。

## 基金設定趣意書

当行は明治11年の創業以来、地域金融機関として2つの世紀にわたり、

地域の皆様の暖かいご支援を頂き、今日まで地域とともに発展してまいりました。

また、未来に向けた庄内銀行のメッセージも「地域の発展と共にある銀行」であります。

21世紀の門出にあたり、永年、当行を育てていただいた地域へ感謝するとともに、

公益信託「庄内銀行ふるさと創造基金」を設置し、生涯学習活動と芸術・文化活動を支援し、

もって真に豊かで潤いのある地域社会を築くために役立てたいと念願するものであります。

2001年4月 株式会社庄内銀行

## 基金概要

**信託目的** この公益信託は、株式会社庄内銀行が山形県内において、優れた人格と知性を備えた人間を育成し、あわせて優れた文化の伝承と創造の促進を目指し、真に豊かで潤いのある地域社会を築くために、学校教育、社会教育及び文化活動への支援を通して教育・文化の向上と推進を図り、もって地域社会の発展に寄与するために設定するものです。

**対象となる活動**

- 学校における教育的な活動
- 地域住民と一体となった社会教育的な活動
- 県内に伝わる文化的な活動

**助成金の使途** 活動に関係した機材費、会場費、消耗品費、旅費、謝礼金等

**助成金額** 活動の所要額を限度とします。

**委託者** 株式会社 庄内銀行 山形県鶴岡市本町一丁目9番7号

**受託者** みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

**信託管理人** 高山克英 弁護士

**運営委員**

- 廣瀬 涉 前山形県教育委員会 教育長
- 酒井 忠久 公益財団法人 致道博物館 館長
- 寒河江 浩二 株式会社 山形新聞社 代表取締役社長
- 佐藤 茂枝 株式会社 小松写真印刷 代表取締役会長
- 柴田 曜子 元山形県立鶴岡南高等学校 校長
- 沼野 慈 特定非営利活動法人 NPOもがみ 理事長
- 伊藤 浩志 国立大学法人 山形大学 教授 大学院有機材料システム研究科長
- 伊藤 兵一 株式会社 フィデア情報総研 代表取締役社長

**公益信託の形態** 特定公益信託

**主務官庁** 山形県教育委員会

※当基金に対し、オリエンタルモーター株式会社様より継続してご寄付を頂戴しております。

申請手続きについては募集要項をご覧ください